

消防署長 様

住所
 申告者 職業 電話
 氏名 印

り 災 申 告 書 (不 動 産)

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者 その他()	
	り災場所	市 町 郡	番地 丁目		
2	建築・購入年月	建築又は購入金額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	3.3 m ² (1坪)当たりの金額(円)	総金額(円)		
3	取得後の経過				
	修繕・改修	年 月	修繕・改築した箇所	修繕・改築面積	修繕・改築に要した金額(円)
		年 月		(m ²)	
		年 月		(m ²)	
		年 月		(m ²)	
	増築	年 月	増築の概要	増築面積	増築に要した金額(円)
		年 月		(m ²)	
		年 月		(m ²)	
年 月			(m ²)		
4	り 災 前 の 建 物 詳 細				
	建物の用途	屋根	外壁	階数	延べ面積 (m ²)
	居住世帯数	世帯	居住人員	人	
5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件名	り災別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・消・他		年	
		焼・爆・消・他		年	
6	火 災 保 険 の 契 約				
	契约会社名	契約年月	保険金額 (万円)		

り災申告書(不動産)記入要領

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを で囲んでください。

その他については、(例 所有者の子、所有者の伯父)と記入してください。

(2の欄)

- 1 建築、購入年月日、金額の欄は、記録(帳簿や契約書など)によって明らかなものなのか、推定によるもののかなど、あてはまるものを で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた3.3㎡(1坪)当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築、又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕、改築、増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい(㎡)、修繕、改築、増築し、いくら(金額)かかったかを記入してください。

	年 月	修繕等した箇所	金額
(例) 改築	平成2年8月	1階事務所部分 33㎡	50万円
	年 月	増築の概要	金額
(例) 増築	昭和59年4月	2階住宅 45㎡	150万円

(4の欄)

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

	用途	屋根	外壁	階数	延べ面積
(例) 住宅		日本瓦	モルタル	2階建て	75㎡
(例) 店舗、住宅		亜鉛鉄板	石綿セメント板	3階建て	130㎡

- 2 居住世帯数、居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

- 1 建物、収容物以外のり災状況の欄は、建物、収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを で囲んでください。
 - (1) 焼：焼けたもの、熱によって受けた炭化、溶融、破損等をいう。
 - (2) 爆：爆発現象により受けた破損等をいう。
 - (3) 消：消火行為に付随しておきる水損、破損、汚損等をいう。
 - (4) 他：上記1～3に該当しない煙損、着臭及び物品搬出する際の破損、汚損をいう。

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。